

Book Review



睡眠歯科の羅針盤 28人の専門家による臨床実践

奥野健太郎 編



Reviewer

角谷 寛 Hiroshi Kadotani
(滋賀医科大学精神医学講座)

A4判変, 152頁
カラー
定価 8,800円
(本体 8,000円+税 10%)
医歯薬出版刊



睡眠・覚醒障害は、近年非常に注目されている疾患群です。なかでも睡眠時無呼吸は有病率が高く、生活の質（QOL）の低下や生活習慣病とも密接に関係しており、現代医療において最も重要な疾患の一つと言えるでしょう。

睡眠歯科は、その治療において口腔内装置（Oral Appliance；OA）の作製・調整・管理を通じて重要な役割を担っており、歯科医療の新たなフロンティアとして注目されています。しかし、睡眠歯科が果たす役割は単に睡眠時無呼吸の治療にとどまりません。歯科がかかわることで、他のさまざまな睡眠障害やより良い睡眠へのアプローチも可能になるのです。そのことは、本書の構成をご覧いただければ一目瞭然です。

本書は、大阪歯科大学附属病院の奥野健太郎先生を船頭/ファシリテーター

に迎え、睡眠歯科の第一線で活躍する専門家28名が、睡眠医療の最新知見や日常臨床での工夫について、テーマごとに15回にわたって対談した内容をまとめたものです。

具体的には、「睡眠×歯科」「睡眠×開業医」「睡眠×自費診療」「睡眠×病院歯科」「睡眠×補綴」「睡眠×口腔外科」「睡眠×小児歯科」「睡眠×麻酔」「睡眠×ブラキシズム」「睡眠×スポーツ歯科」「睡眠×嚥下」「睡眠×歯科衛生士」「睡眠×歯科技工士」「睡眠×臨床検査技師」「睡眠×医科歯科連携」といった、多岐にわたるテーマが取り上げられており、歯科医療の多様な領域からの視点が集約されています。

対談・座談会という形式をとることで、専門的な話題でありながらも平易で読みやすく、これから睡眠歯科に取り組もうと考えている歯科医師や歯科

関係者にとって、非常に親しみやすい内容となっています。そして各章の最後には、対談者からこれから睡眠歯科を始めようとする読者への温かく、力強いメッセージが添えられており、実践への一歩を後押ししてくれることでしょう。

また、本書は必ずしも最初から順に読む必要はなく、読者がもともと関心を持っているテーマの章から読み進めることができるという点も、大きな魅力です。関心のある分野から入り、徐々に他領域にも目を向けていただくことで、睡眠歯科全体の可能性がより明確になるはずです。

この本をきっかけに、多くの方が睡眠歯科の扉を開き、患者さんの健康と快眠のために新たな一歩を踏み出されることを願っています。さあ、睡眠歯科をはじめましょう！